

— 自然免疫と健康維持 —

LSINは、特定非営利活動法人 環瀬戸内自然免疫ネットワーク(Nonprofit Organization Linking Setouchi Innate immune Network)の略であり、平成13年に設立された自然免疫賦活技術研究会を母体として、平成18年3月22日に設立されたNPO法人です。詳しくは <http://www.lsin.org> をご覧ください!!

— 第43回自然免疫賦活技術研究会開催される —

平成24年12月21日(金)、香川産業頭脳化センター(香川県高松市)にて第43回自然免疫賦活技術研究会が開催され、計54名(計32機関)が参加し、産官学から8題のプレゼンテーションが行われました。

今回の研究会では、産業技術総合研究所より「産総研本格ワークショップ in 四国」、四国産業・技術振興センター(STEP)より「科学的エビデンスに基づく地域ブランド認証システム構築モデル事業の進捗状況」についてご説明頂きました。

また、免疫に関する最近のトピックスとして、香川大学医学部統合免疫システム学講座准教授/自然免疫応用技研株式会社 取締役 稲川裕之氏より「発熱と自然免疫」に関する情報提供がありました。

特別講演では、北海道バイオ工業会 事務企画・運営委員 主幹事/株式会社アミノアップ化学 研究部学術開発室マネージャー三浦健人氏より「北海道における健康食品開発の歩みと今後 ～フード特区における機能性表示制度と企業事例～」と題して、北海道フード特区における食品の機能性表示の規制緩和が一部認められるようになった概要と、企業事例についてご紹介頂きました。食品機能性表示について地域間で情報共有する良い機会となりました。



本号のニュース

- ・第43回自然免疫賦活技術研究会の開催
- ・LSIN 主たる事務所の移転
- ・平成24年度における健康支援食品に関する取り組み
- ・自然免疫賦活技術研究会 会員企業紹介
- ・第2回 自然免疫制御セミナー開催

■主たる事務所を香川県に移転しました。

NPO法人環瀬戸内自然免疫ネットワークは、平成25年1月4日付けで、主たる事務所を徳島県から香川県に移転いたしました。これに伴い、所轄庁も香川県に異動となりました。

【主たる事務所】香川県高松市林町2557-4

【従たる事務所】福岡県福岡市城南区七隈7-45-1(福岡大学医学部生化学教室内)

【香川県内で活動している事務所】香川県高松市林町2217-16 FROM香川バイオ研究室

■「100本Movie館」にインタビュー動画が掲載されました。

香川県共助の社会づくり支援事業「100本Movie館」のサイトに、NPO法人環瀬戸内自然免疫ネットワークのPR動画が掲載

— 目次 —

- ・第43回自然免疫賦活技術研究会開催される 1
- ・主たる事務所を香川県に移転しました 1
- ・平成24年度における健康支援食品に関する取り組み 2
- ・自然免疫賦活技術研究会 会員企業紹介
第19回 東洋ライス株式会社 3
- ・第2回 自然免疫制御セミナー開催される 3
- ・ひげ博士のホットレポートー最新免疫学講座ー 4
- ・LSIN会員募集 4
- ・編集後記 4

されました。

本支援事業は、香川で元気に、地道に地域貢献活動をする100の団体・企業のインタビュー動画を集め、共助の社会づくりを考えることを目的としています。掲載されているサイトのURLは以下のとおりです。ぜひご覧ください。

100本Movie館
→<http://100movies.npo-kva.org/>

NPO法人環瀬戸内自然免疫ネットワーク掲載ページ
→
<http://100movies.npo-kva.org/movie/kansetouchi-shizen-mekeni.html>

平成24年度における健康支援食品に関する取り組み

～「科学的エビデンスに基づく地域ブランド認証システム構築モデル事業」が終了、
「健康支援食品制度」の創設に向けての取り組みがスタート～

LSINが四国産業・技術振興センター(STEP)と連携し、日本立地センターから受託して、昨年7月から取り組んでおりました「科学的エビデンスに基づく地域ブランド認証システム構築モデル事業」(経済産業省「地域新成長産業創出促進事業補助金」のモデル事業)については、「健康支援食品に関する地域ブランド認証システム検討委員会」(委員長: 柚源一郎)ならびに同委員会内に設けられたワーキンググループ(委員長: 大野智)での議論などをベースとして機能性表示システムの枠組みの具体化に関する検討が行われるとともに、北海道内の食品素材を対象とした効果実証試験が実施され、この程それらの結果が報告書としてとりまとめられました。

報告書には、地域間連携の成果として、

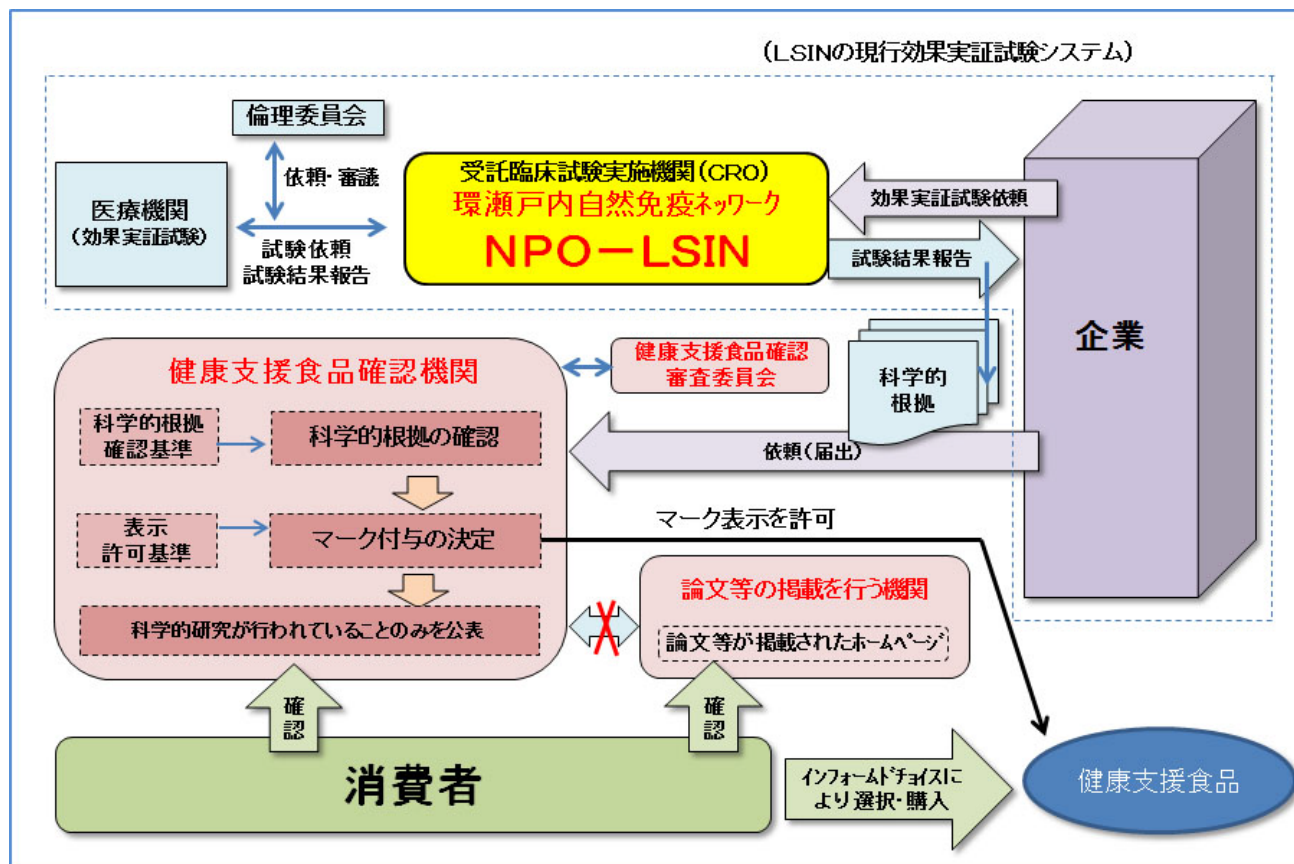
- ①前年度に立案した「科学的エビデンスに基づく食品の機能性表示システム」をベースとし、独自の食品機能性表示制度を目指している「北海道バイオ工業会」と連携して、「機能性表示システムの枠組みの具体化」に取り組んだ内容
- ②同工業会が選定した食品素材(酵素処理アスパラガス茎熱水抽出物、オリゴノール)について、科学的エビデンスの収集のため倫理委員会の審査を経て、実施された効果実証試験の内容が盛り込まれております。(下図参照)

また、本事業は、他地域と連携した優れた取り組みを促進しつつ、地域ブランド認証システムの構築と地域企業製品の高付加価値化を促進するモデルを実証することを目指しており、本検討委員会・ワーキンググループでは、右記①と②に加え、以下の項目についても検討が行われました。

- ・地域ブランド認証事業における科学的エビデンスの活用方法ならびに消費者への情報提供のあり方
- ・科学的エビデンスを活用した商品化のあり方 など

現在、LSINとSTEPでは、「健康支援食品制度」の創設に向けて、以下の項目についての検討が進められており、早ければ、平成25年度内には、制度の試行運用がスタートする見込みです。

- ・4県へのアプローチ
- ・制度の認知度向上
- ・制度運用にあたって必要な規程等の作成
- ・制度運用における課題等の洗い出し など



東洋ライス株式会社

弊社は(株)東洋精米機製作所とトーヨーライス(株)が本年3月1日に合併し、世界初の「お米に関する総合メーカー」としてスタートしました。

(株)東洋精米機製作所は、昭和36年、お米の中から小さな石を取り除く石抜き機の開発を皮切りに、独自の技術で多くの斬新な精米関連機器を開発、さらに研がずに炊ける「BG無洗米」(平成3年)や栄養と美味しさを両立した「金芽米」(平成17年)を開発し、日本の主食であるコメに新たな価値を創造してきました。

一方、トーヨーライス(株)は、金芽米のメーカーとしてその普及事業に努めることで、人々の健康増進に寄与して参りました。

新会社東洋ライス株式会社は、両社のこれまでの事業活動を通じて培ってきた技術やノウハウを統合しさらに発展させ、お米に関する世界初の「お米に関する総合メーカー」として、日本のコメ文化の向上と普及に務めると共に、お米に新たな付加価値を創造し続けることで、国民の健康増進と医療費削減、我が国の農業が抱えている問題の解決、グローバル化への対応に寄与して参ります。

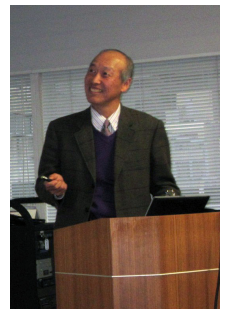


中でも、サイカ式精米法により金芽(胚芽の基底部)と亜糊粉層(あこふんそう)を残し、玄米に近い栄養価と白米以上のおいしさを実現した金芽米は、近年、亜糊粉層が高血圧や心臓血管疾患を予防する効果があることがわかり、また、長期利用者の健康へのプラス効果が報告されるなど注目を集めておりますが、昨今、亜糊粉層に免疫効果のある糖脂質の含有量が非常に多いことが判明しており、新たな生理機能が発見されることが期待されます。

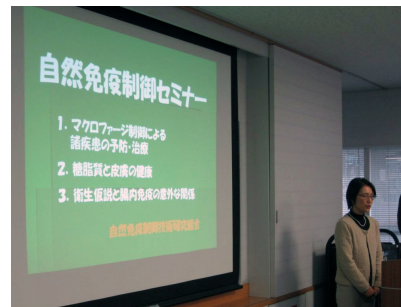
— 第2回 自然免疫制御セミナー開催される —

～植物発酵糖脂質の応用・自然免疫による自然治癒力アップ～

2013年3月10日に、自然免疫とその中心的な役割をもつマクロファージ細胞について学ぶ、第2回自然免疫制御セミナーが開催され(主催:自然免疫制御技術研究組合・香川大学医学部統合免疫システム学寄附講座/後援:自然免疫応用技研株式会社)、稲川准教授(香川大学医学部)、高松氏(有限会社タカ企画)及び河内准教授(香川大学医学部)にご講演をいただきました。



まず、マクロファージ制御による健康維持としての自然治癒の増強作用について、稲川准教授から『マクロファージ制御による諸疾患の予防・治療』と題したご講演がありました。



たご講演がありました。

続いて、糖脂質の経皮での効果について、河内准教授から『糖脂質と皮膚の健康』と題したご講演がありました。

最後に、高松氏が『衛生仮説と腸内免疫の意外な関係』と題し、衛生仮説と免疫システムについてご講演されました。



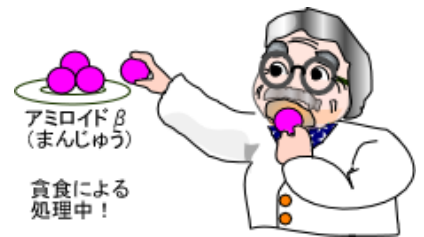
当日は企業の方以外にも一般の方も含めほぼ定員の約40名御参加いただき、特に関心の高い参加者は講演終了後も講師をつかまえて質問を投げかけていました。

関係者の皆様には、次回も何卒ご協力を御願いたします。また、ご支援いただきました皆様にご場を借りてお礼申し上げます。

ちょっと一息：ひげ博士のホットレポートー最新免疫学講座ー

皆さん。ひげ博士じゃ。本日は、アルツハイマー型認知症を予防する話をしよう。

アルツハイマー病はアミロイドβという小さな不溶性タンパク質が脳にたまって、いわゆる老人斑ができて、神経細胞が死んでしまい、だんだんと脳が萎縮していく病気じゃのう。ところで、脳には、マイクログリアと呼ばれている組織マクロファージがおって、神経細胞の維持に関わっておる。実は、アミロイドβは誰の脳にも出来ているのだが、これをマイクログリアがせっせと食べて除くことで、アミロイドβがたまるのを防いでおるのじゃな。



さて、最近の研究で、ついに糖脂質がアルツハイマー病の予防に有用なことが報告されたので、紹介しよう*。低分子で活性の低い糖脂質(モノオスホリルリピドA: MPL)を注射すると、糖脂質受容体のTLR4を経由して、マイルドにマクロファージの活性化を誘導できる。アミロイドβが出来やすいように遺伝子操作したマウスに、このMPLを腹腔内投与したところ、マイクログリアがアミロイドβを貪食する能力が高まったのじゃ。当然、老人斑が脳で作られるのを抑制されて、学習障害も抑制されることが確認されたんじゃ。やっぱり、糖脂質をうまく使えば、いろいろな病気を予防できるのじゃのう。

*: ProNAS, 110: 1941-1946 (2013).

LSIN会員募集

LSINでは会員を募集しています。LSINの活動に賛同していただける方であれば、どなたでも入会できます。

●入会金・年会費一覧

入会を希望される方は、以下の入会手続きをご参考ください。

(1)ホームページからの入会手続き

下記のURLにアクセスし、ホームページ内の「入会のご案内」→「入会申込フォーム」に必要事項を明記の上、お申込ください。

LSIN URL : <http://www.lsin.org>

(2)郵送またはFAXによる入会手続き

「入会申込書」をLSIN事務局まで郵送あるいはFAXでご請求下さい。

「入会申込書」に必要事項を明記の上、事務局まで郵送あるいはFAXにて送付ください。

「入会申込書」の下部に記載している振込先へ、入会金・年会費をお振込ください。

事務局から「入会手続き完了」の連絡をお送りします。

※「入会手続き完了」のご連絡は、事務局にて入会申込書と入金を照合し、入会手続きが完了した時点でお送りします。

入会申込書の送付と入会金・年会費のお振込完了後、2週間を過ぎても連絡がない場合は、お手数ですが事務局までお問い合わせください。

入会金			年会費		
正会員	個人会員	10,000円	正会員	個人会員	10,000円
	企業会員	30,000円		企業会員	50,000円
賛助会員	個人会員	10,000円	賛助会員	個人会員	10,000円
	企業会員	30,000円		企業会員	50,000円
モニター会員	入会金なし		モニター会員	年会費なし	

〒761-0301 香川県高松市林町2217-16
FROM香川バイオ研究室

特定非営利活動法人 環瀬戸内自然免疫ネットワーク

TEL:087-813-9201 FAX:087-813-9203
(MOBILE:090-2783-5885)

E-mail: npolsinlsin@lsin.org URL: <http://www.lsin.org>

編集後記

LSIN会員の皆様、ニュースレターNo.22をお届けします。

LSINが四国産業・技術振興センター(STEP)と連携し、平成24年7月より取り組んできました「科学的エビデンスに基づく地域ブランド認証システム構築モデル事業」が終了したため、その成果について報告しました。

以前よりお伝えしているように、この取り組みが制度として整備され運用されたならば、全国各地の地域企業製品のブランド化が可能となり、地域経済の活性化が期待でき

ます。

また、消費者は食品素材の機能性表示を読むことで、自分に有益な健康支援食品を科学的エビデンスに基づいて選ぶことが可能となり、効果のない商品を選んだり健康被害に遭う危険性が低くなると思います。

最後になりますが、お忙しい中、原稿をご執筆いただいた方々、編集委員の皆様にご心より厚くお礼申し上げます。

編集長 中本 尊

LSIN事務局 編集長 中本 尊 編集員 稲川裕之 中本優子 谷口芳枝

平成25年3月22日発行